



地域の宝を再発見

2月19日、三日月地域づくり協議会西部部会主催で地域再発見ウォークが行われました。参加者たちは味わいの里三日月を出発し、最明寺や田此日限地藏尊、三日月陣屋館を回る約4kmのコースに挑戦。暖かい日ざしが降りそそぐなか、地域の宝に触れながら、さわやかな汗を流しました。

Contents ● 主な内容

クローズアップ 小規模集落に生きる 金子集落「矢原山ホテルむら」の挑戦	・・・02—05
宇多勝彦くん（広山）2年連続日本一	・・・06
高年大学学生募集	・・・08
FlashNews（まちの話題）	・・・10—11



金子集落 「矢原山ホタルむら」の挑戦



1 ドラム缶を使った燻製づくり。シカやイノシシ、キジの肉を燻製にし、夕食のメニューになりました
 2 出来上がった燻製。かめばかむほど奥深い味が口いっぱいに広がりました
 3 均等に切ったカシの木を窯に並べます
 4 火入れから約2日。できあがった炭を窯から取り出す大西さん（中央）



2月19日に行われた金子集落の総会に集まった皆さん（矢原山ホタルむら役場にて）

「ドラム缶の温度は40度ぐらい。燻製づくりは火の加減が大事なんや」。笑顔で参加者に話しかける大西茂さん（金子）。ホタルむらの代表を務めています。2月6日から参加したのは、京都学園大学の教授と学生たち6人。学校では人と自然のかかわりを通じて、地域資源の価値を見直す研究をしています。学生たちは慣れない作業に戸惑いながらも、里山体験を満喫していました。参加した荻野友美さん（京都府亀岡市）は、学校でライフル部に所属。猫師になる夢を持っていきます。「都会では味わえない体験。この3日間、かけがえのない経験になりました」と笑顔で里山生活を振り返っていました。

を伐採。2日目は、炭焼きと地元で採れたシカやイノシシの肉で燻製づくり、シイタケの植菌などを行い、3日目に窯から炭を取り出します。
**ここでしかできない
 かけがえのない体験**



ツアーに参加した
京都学園大学教授
原 雄一さん

Voice

ツアーに参加した学生たちは、普段、都会で物に囲まれ、何不自由なく暮らしています。里山生活を通して、何もなかったところから考える力をつけるきっかけになればと思い参加しました。この経験が学生たちの生きる力につながればと期待しています。佐用町の自然とホタルむらスタッフの温かい心づかいを通じて「目に見えないものに価値がある」ということを改めて気づかされました。

目に見えないものに
価値がある

金子集落「矢原山ホタルむら」の挑戦

少子高齢化によって過疎化がすすむ佐用町。これまで、町内の限界集落や小規模集落での取り組みを通じて、そこで生きる人たちの思いを紹介してきました。平成18年3月に開村した「矢原山ホタルむら」。金子集落の地域住民が都市住民との交流を通じて、地域活性化に取り組んでいます。このほど、炭焼き体験などを通じて里山生活を味わうツアーを始めました。今月号では「矢原山ホタルむら」のこれまでの活動やホタルむらに携わる金子集落の皆さんの思いを紹介します。

地域資源を利用した
都市交流

パチパチパチ
炭が激しく焼ける音と窯から出る柔らかな煙が静かなむらを含みます。

幕山地域の金子集落。人口は1月末で84人。高齢化率は33割にのぼります。平成18年3月に集落の有志で開村した「矢原山ホタルむら」。都市住民との交流を通じて地域活性化に取り組んでいます。開村から今年で6年。これまで、桜山川のホタルを増やす活動や休耕田を利用した収穫体験など、地域資源を利用した様々な取り組みを行ってきました。

古民家の宿泊や炭焼きなど
里山生活を体験

このたび、新たな取り組みとして昨年12月から3月まで里山生活と炭焼き体験ツアーを始めました。このツアーは、2泊3日で古民家に宿泊し、炭焼きや燻製づくりを通して里山気分を味わいます。初日は近くの山でカシの木

金子集落 「矢原山ホタルむら」の挑戦



昨年6月に行われたホタルウォーク



取材に応じてくださったホタルむらの皆さん。それぞれの思いに夢と笑顔が広がります

地域の活性化とは ここに住む人たちが 生き生きと暮らすこと

今月で開村7年目を迎えた「矢原村ホタルむら」。これまでの取り組みを通じて感じたこと。これからの活動のこと。活動メンバーそれぞれの思いに迫りました。

集落の将来に対して 危機感を共有

「集落に元気があるうちに、何とかしなければと誰もが感じていた」。

ホタルむら代表で、金子自治会長の大西さんは開村した6年前を振り返ります。

当時幕山小学校に通う約3割の児童が金子集落の子どもたち。集落の将来を考え、今のうちに若い世代が活躍し、集落に活気をもたらす場が必要と考えていました。そんな

む上での考え方を力説します。

イベントを通じて つながりをはぐくむ

団塊世代が定年退職を迎えています。現在、金子集落は26戸。そのうち、3戸でUターンが見込まれています。

「仕事などで町外で住んでいる人が、ホタルウォークはもちろん、土、日のイベントにも参加してくれる。また、遠く離れて帰ってこれない人も連絡をしてくれる。そんなつながりがあるからこそ、金子に帰ってきてくれるんやと思う」。自らもUターンで古里に帰ってきた反橋逸生さんは、自身の経験を重ね合わせます。

行政の補助に頼らずに自分 たちでできることを模索

小規模集落応援サポートの福井正春さん（目高）。県から派遣され、昨年6月に明石市から佐用町へ。ホタルむらの活動を全面的にバックアップしています。

なか、金子集落が県の美しいむらづくりのモデル地域に指定。平成18年3月に集落を見渡せる里山の名前を取って「矢原山ホタルむら」を開村しました。

誰もが参加できることが 地域の活性化につながる

地域資源を活用した都市交流に取り組んできたホタルむら。できることは何でも挑戦しました。遊休農地を活用した収穫体験や桜山川のホタルを観賞する「ホタルウォーク」、炭焼き体験ツアーなど。どれもメンバーが発案したものであります。

「今、取り組んでいるのはブルーベリーの栽培。5本の苗木から88本も育ったんや」とメンバーの谷口恒雄さんはうれしそうに目を細めます。

「ブルーベリーやったら、子どもや高齢者が実を収穫できる。みんなが作業や行事に参加できること。それが地域を活性化することにつながります」。同じくメンバーの谷口勝昭さんは、活動に取り組

「活動を通じて、金子集落の人たちの温かさや熱心さが伝わってきます。自分も金子の一員みたいなものですよ」と笑顔で話す福井さん。集まった金子集落の皆さんからも笑みがこぼれます。

しかし、福井さんの任期は3月末まで。また、すべての活動が順調というわけではありません。「行政の補助に頼るのでなく、自分たちで運営費をまかなえるものを作り出さなければ」と大西さんは、今後のホタルむらの課題を口にします。

その上で、大西さんはこれまでの取り組みを振り返り、「色々課題はあるが、これからもみんながここに集まり、力を合わせて活動していきたい。地域の活性化は若い人たちを呼ぶことだけじゃない。ここに住む人たちが生き生きと暮らすこと」と集落づくりの大切さを訴えます。

ホタルむらに対する思いを語ってくれた金子集落の人たち。これからは、矢原山ホタルむらの挑戦は続きます。

公共交通機関を利用しましょう

● JR姫新線と智頭線 3月17日からダイヤ改正

3月17日から、JR姫新線と智頭線のダイヤ改正が行われます。ダイヤをよく確認してご利用ください。



● 路線バスやコミュニティバスもダイヤ改正

路線バスもJR姫新線のダイヤ改正によって、ダイヤが改正される可能性があります。ダイヤをよくご確認の上、ご利用ください。

また、佐用町運営のコミュニティバスもダイヤ改正を行う予定です。ご利用の際にはご注意ください。



● 路線バス『三日月～播磨科学公園都市線』の休止について

ウエスト神姫（株）の協力で、JR三日月駅から、播磨科学公園都市を結ぶ路線バス『三日月～播磨科学公園都市線』は、平成24年3月31日を最後に、休止となります。

現在、播磨科学公園都市への通院・通学のための手段を検討しています。決まり次第、防災無線や佐用チャンネル、広報紙などでくわしくお知らせします。

● 公共交通機関の維持には一人でも多くの利用が必要

鉄道や路線バスなどの公共交通機関は、多くの皆さんの利用によってはじめて、利便性の維持・確保が図れます。しかし、マイカーの普及によって利用者数が減り、採算がとれない公共交通機関の利便性の確保は、極めて厳しい状況です。

マイカーばかりを利用せず、ときには公共交通機関を利用した通勤・通学で、佐用町の公共交通機関を維持しましょう。

問 企画防災課復興企画室 ☎82-0664

農業委員会委員が決定

任期満了に伴う農業委員会委員選挙は、各選挙区での立候補者数が定数を超えなかったため、無投票で決定しました（敬称略。掲載は選挙区ごとに届出順）。

■ 佐用選挙区

大谷和廣（庵）
前田義弘（口金近）
藤木春美（青木）
衣本利美（山脇）
笹谷 彰（大願寺）
押田泰博（西河内）

■ 上月選挙区

長田政俊（櫛田）
保田 實（皆田）
祐保俊彦（判官）
坂口和雄（円光寺）

■ 南光・三日月選挙区

直木敏之（茶屋上）
舟引進八（西市）
森崎文和（小山）
阿曾則康（下三河）
中尾正俊（下徳久下）

また、議会推薦の委員と、農業協同組合推薦の委員は、次のみなさんです（敬称略）。

■ 議会推薦委員 江見勝二（大島）、祖開正平（下上月）、腰前正好（東徳久）、藤東義澄（三ツ尾）

■ 農業協同組合推薦委員 盛崎 務（久崎）

問 総務課総務人事室 ☎82-2549



宇多勝彦くん（広山）が
水泳で
2年連続日本一

継続した 努力の結晶

日本知的障がい者水泳短水路大会で、宇多勝彦くん（広山）が昨年に引き続き2種目を制し、再び日本一に輝きました。



優勝の喜びを表す宇多くん（上）とプールでの練習の様子（左）。休むことなく泳ぎ続けていました。

1月9日、千葉県国際総合水泳場で第14回日本知的障がい者水泳短水路大会が行われ、三日月小6年の宇多勝彦くん（広山）が少年A（9歳～12歳）の部25歳、50歳自由形で昨年に引き続き優勝しました。

大会前は週に3回、8時間の練習をこなす宇多くん。体力をつけるため、プールに入る前に30分間の腹筋、背筋を欠かしません。「昨年の優勝にもおごることなく、厳しい練習にも弱音を吐かなかつた」と末政博文コーチもその努力に感心します。大会前に末政コーチと約束した25歳の大会新記録を見事に樹立。そばで支え続ける母の美和子さんも「継続した努力が身を結んだ」と目を細めました。

来年の大会からは、少年B（13歳～19歳）の部に移ります。宇多くんは「来年に向けて、手や足の筋力をもっとつけたい。バタフライなど違う種目にも挑戦できれば」と笑顔で抱負を語りました。

3月24日
上月歴史資料館隣りにオープン

紙すき文化伝承施設 しゅんエイイベント



施設の外観

500年以上の伝統を誇る「皆田和紙」。その伝統を引き継ぎ、歴史と魅力を発信する施設として、3月24日に紙すき文化伝承施設が開館します。しゅん工式のほか、和紙づくり体験や餅つき、ふれあい喫茶などが行われます。ぜひ、お越しください。

■ 内容 しゅん工式（午前10時～）
イベント（午前10時30分～）
・和紙作り体験教室（定員40名、要予約、参加費1人300円）
・餅つき、ポップコーン、喫茶など

【紙すき文化伝承施設】

問 教育委員会 ☎82-2424

【しゅんエイイベント・和紙作り体験教室申込先】

問 上月支所 ☎86-1211

■ と き 3月24日④ 午前10時～正午

■ と ころ 紙すき文化伝承施設
（上月歴史資料館に隣接）

一緒に活動してみませんか

さよう子どもアートスクール 活動メンバー募集



ひまわり祭りのPRポスターを姫新線車両内に掲示

- 対象 小・中学生
 - 日程 毎月第2日曜日
午前10時～午後3時
(内容によって変更あり)
 - 活動 町内各地での自然体験、創作活動
 - 参加費 年会費1,000円
材料費等実費負担
- ※申し込み方法など詳細は学校で配布するチラシをご覧ください。
※サポーター(活動支援の大学生、高校生)も募集します。
- 問 生涯学習課 ☎82-3336 (月曜日休館)

さよう子どもアートスクールが
作品展覧会を開催

1年間の活動を披露



佐用高校美術部の作品と合わせ65点が並びました

『佐用の自然は〇ごととアート』をコンセプトに体験や創作活動を行うさよう子どもアートスクールが、1月31日から6日間、さよう文化情報センターで作品展覧会を開催しました。同スクールには、町内外の小学1年から中学3年生20人が参加。今年度は『姫新線でGO!』と題し、南光ひまわり祭りの車内用広告作成や、姫新線を利用した写真撮影会などを実施。会場には、メンバーたちが製作したポスターや作品が並びました。

メンバーの岡田枝里香さん(弦谷)は「ここでしかできない貴重な体験ができた」と笑顔で振り返っていました。

①障がい者社会学級

「くすの木学級」は聴覚障がいを持つかた、「青い鳥学級」は視覚障がいを持つかたが、年3回程度集い、交流と学習を深める生涯学習講座です。
※活動を支えるスタッフも随時受け付けています。

②ひかりのさと少年少女合唱団

- 対象 保育園・幼稚園児～小・中学生
- 指導者 指揮 西岡美沙子さん 主伴奏 尾崎真美さん
- 内容 合唱曲や季節の童謡の練習、イベントへの出演、福祉施設への訪問など
- 年会費 1,500円(弟妹は1,000円)
- 練習日 毎月第2・第4土曜日午前9時30分から2時間
- 練習場所 さよう文化情報センター

問 生涯学習課 ☎82-3336 (月曜日休館)

他にもいろいろ
みんなで学ぼう

メンバー募集



文化祭で発表(ひかりのさと少年少女合唱団)

佐用教室 (アートフラワー)

アートフラワーは、花の形に切り抜いた絹に色をつけ、思い思いの花を作ります。手作りのブーケを贈るととても喜ばれます。講座には佐用地域以外からも参加があります。講座を通じて、いろんな人との出会いやおしゃべりも楽しみの一つですね。

Interview



眞島昌子さん(庵)

南光教室 (書道)



阿曾泰三さん(河崎)

2年前にUターンし、以前から興味があった書道講座に入門。楽しみながら教室に通っています。作品は展覧会に出展することもあり、現在も卒業作品を制作中。また、専門講座以外にも館外研修などを通じて、多くの仲間が増えました。

【募集要項】

- 学費 1教室につき、1人年間1,000円
ただし、専門講座・クラブなどの材料費など実費が必要
- 入学申し込み 生涯学習課、各支所地域振興室にある申込書で申し込みください。
- 申込締切 3月27日(火)
- その他 教室や講座の複数選択も可能。一般講座は4教室共通。所属教室以外のどの会場でも聴講できます。
- 問 生涯学習課(月曜休館) ☎82-3336
- 問 上月支所地域振興室 ☎86-1210
- 問 南光支所地域振興室 ☎78-0123
- 問 三日月支所地域振興室 ☎79-2982

	佐用教室	上月教室	南光教室	三日月教室
開設場所	さよう文化情報センター	上月文化会館	南光文化センター	三日月文化センター
一般講座 各分野から講師を招いての講演(毎月1回)	午前10時～正午 第3木曜日	午前10時～正午 第3水曜日	午前10時30分～正午 第2木曜日	午前10時～正午 第3火曜日
専門講座 一般講座開催日の午後開催します ※学習計画は各部署で立案します	手芸、アートフラワー、栄養と料理、歴史、盆栽、生花、書道、俳句、工芸、コーラス	園芸、陶芸、手芸(ちぎり絵)、音楽、実用書道、パソコン	手芸(ちぎり絵)、コーラス、書道、園芸、料理	書道、歌謡、大正琴、健康ダンス、パソコン
クラブ活動 クラブ単位で開催日・活動内容を決定しています	ゲートボール、生け花、健康ダンス、うたごえ、囲碁、ニュースポーツ	開催していません	開催していません	ゲートボール、グラウンドゴルフ、陶芸
対象者	町内に在住しているおおむね60歳以上のかた			

※開催場所はと一般講座の開催日は、内容によって変更する場合があります。

高年大学 学生募集

学びに終わりはありません
豊かな人生は「学び」から

様々なことを学び、学んだことを自分の人生と地域に生かすこと。それが心豊かな人生とまちづくりにつながります。町高年大学は、人と人とのふれあいのなかで、新しい教養を身につけ、趣味活動を充実させ、明るく生き生きとした日々を過ごすための「生涯学習講座」です。みんなで楽しく学びましょう。



わらべうたを楽しむ参加者の皆さん

子育てしやすいまちに

ファミリーサポートとママプラザとの交流

2月16日、さよう子育て支援センターで親子62人が参加し、子育てを支援する「ファミリーサポート」会員とママプラザとの交流が行われました。

交流会では、姫路こどもの館の指導員によるわらべうたや伝承遊びの体験活動が行われました。参加した親子は、歌に乗せて手や体を動かしながらふれあいを楽しんだり、けん玉やおはじきを使った伝承遊びを通じて、お互いに交流を深めたりしました。

ファミリーサポート会員の武田明日花さん（大坪）は「交流をきっかけに子育てしやすい町につながれば」と話していました。



散策を楽しむ参加者の皆さん

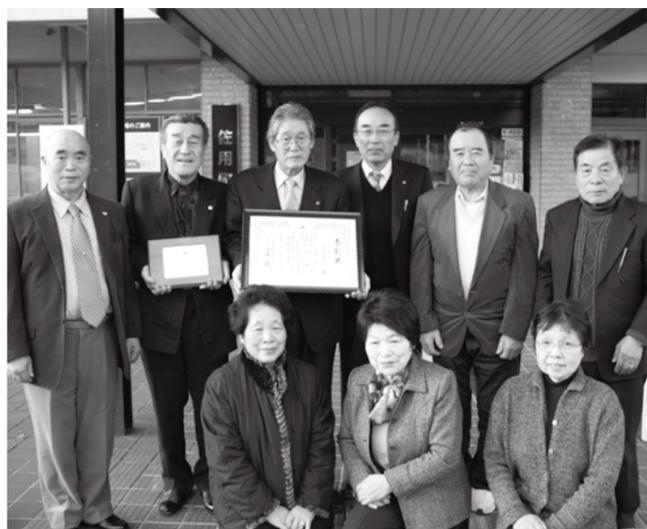
姫新線に乗ってハイキング

中安地域づくり協議会がふれあいハイキング

2月11日、中安地域づくり協議会主催のふれあいハイキングが行われ、親子連れなど約100人が参加し、姫新線を利用してたつの市周辺の散策に出かけました。

8時46分発の上りに乗車。車内には参加者の賑やかな声と笑顔が広がりました。本竜野駅到着後、「龍野ふるさとガイド」の案内で龍野城周辺を散策。その後、赤とんぼ荘でゆう麺などを食べ、帰路に着きました。

参加した山内なるみさん（小山）は「また機会を作って、姫新線を利用してみたい」と話していました。



受賞した高年クラブ役員の皆さん

高齢者の安全安心のために

町高年クラブが交通安全優良団体表彰を受賞

町高年クラブが、1月17日に開催された第52回交通安全国民運動中央大会で、交通安全優良団体表彰を受賞しました。

受賞は交通安全運動を推進し、交通事故防止に努める活動が認められたもの。同クラブでは、交通安全教室を開催したり、街頭に立って高齢者へ交通マナーを呼びかけたりするなど、高齢者の安全安心のために様々な取り組みを行っています。

同クラブ会長の猪口久雄さん（三日月上）は「受賞を励みに、一層活動に力を入れたい」と抱負を語りました。

自分たちの地域は自ら守る

西播磨のつどいで円応寺自治会が事例発表

1月28日、さよう文化情報センターで西播磨地域の住民約400人が参加し、防災・減災を考えるひょうご安全の日「西播磨のつどい」が行われ、円応寺自治会が事例発表を行いました。

平成21年台風9号水害で被害を受けた同自治会。発生後、自治会組織の見直しや防災マップの作成に着手。防災倉庫の建設では予算が足りず、地域住民が作業を行って完成させた事例などを報告しました。

発表した船曳学さん（円応寺）は、「自分たちの地域は自らが守り、自助、共助の精神でまちづくりを進めよう」と訴えました。



大型スクリーンを使って発表する船曳さん

優しさがあふれる社会に

久保萌恵香さん（円応寺）が社会を明るくする運動作文コンテストで神戸保護観察所長賞を受賞

第61回社会を明るくする運動作文コンテストで、佐用小学校6年の久保萌恵香さん（円応寺）が神戸保護観察所長賞に輝きました。受賞作品は全国大会に推薦されます。

作品名は『小さな宝物』。久保さんは、自分の体験や学校の授業を通じて、親切とは見せない心であり、人のためにする本当の親切で笑顔を広げたいと綴りました。

久保さんは「親切をすることでみんなが優しい気持ちになれば」と話していました。

また、上津中学校3年の眞島美紀さん（西徳久）が県BBS連盟会長賞を受賞しました。



入賞を喜ぶ久保さん。今は卒業文集の制作に力を注いでいます

初期消火で被害を最小限に

つよし 春井逞さんに初期消火協力で感謝状

2月1日に下徳久下集落内で発生した建物火災の際、初期消火活動に貢献した春井逞さん（下徳久下）に、2月22日、庵途町長から感謝状が贈られました。

春井さんは出火当時、隣接する店舗で火事に気づき、家人に出火を伝え避難誘導するとともに、消火器を持って初期消火にあたり、被害を最小限にとどめました。

春井さんは「住宅が密集している地域。被害が広がらなくて本当によかった」と胸をなで下ろしていました。



感謝状を受け取る春井さん

平成24年度は 固定資産税の 評価替年度です

固定資産税は、適正な価格を算定するため、3年ごとに評価の見直しを行っており、平成24年度はその見直しの年にあたっています。

土地（宅地）については、3年間の地価の動向を価格に反映し、地価公示価格などの7割を目途に評価します。

家屋については、建築物価の動向と、新築時からの経過年数による減点補正率を適用し評価します。

なお、課税通知書を4月中旬にお送りしますので、納期内納付にご協力をお願いします。

■価格等縦覧帳簿を縦覧

平成24年度固定資産税の基礎となる、土地、家屋の評価額などを記載した土地価格等縦覧帳簿の縦覧をします。

軽自動車や単車の廃車 手続きは3月中に

原動機付自転車や軽自動車などの「軽自動車税」は、毎年4月1日現在の所有者に課税されます。車両を処分したり、他人に譲ったときは、4月1日までに必ず廃車の手続きしてください。手続きをしないと、引き続き課税されます。

■手続きの方法

原動機付自転車（125cc以下）・小型特殊（トラクターなど）は、ナンバープレートと印かんを持参し、税務課、または支所・出張所で手続きをしてください。

自動二輪・軽四自動車は販売店か佐用郡自家用自動車協会（☎82-2416）で手続きをしてください。

■その他

原付、小型特殊などを購入したり、譲り受けたりしたかたは、ナンバープレートの交付申請をください。印かん、販売証明書、廃車証明書などを持参し、税務課、各支所・出張所で手続きをください。

町税の前納報奨金が 段階的に引下げ 廃止になります

町県民税（普通徴収）や固定資産税の納付については、1期分の納期に全期分を収めていただく場合などに、前納報奨金を差し引いて納めていただいています。

しかし、平成24年度から段階的に前納報奨金の引下げを行い、平成26年度に廃止することになりました。

なお、前納報奨金の制度がなくなっても、引き続き前納できますので、ご利用ください。

■年度別引下げ状況

平成24年度	現行の2分の1
平成25年度	現行の4分の1
平成26年度	廃止

平成23年分所得税確定申告
平成24年度町・県民税の申告相談

3月15日木まで

平成23年分所得税確定申告、平成24年度町・県民税の申告相談は3月15日木までです。申告がお済でないかたは、期限までに申告をしましょう。

自治会ごとの申告相談日に不都合がある場合などは、同一会場またはその地域や町全体の申告相談日にお越しください。

■町全体の申告相談

3月11日日～15日金

■受付時間 午前9時～午前11時30分
午後1時～午後3時30分

■受付場所 さよう文化情報センター

■災害による雑損控除の繰り越し

昨年、災害による雑損控除の繰り越しをしたかたのうち、翌年に繰越額のあるかたは今年の確定申告で税を軽減することができます。また確定申告によって、所得金額より前年からの繰越額が多い場合は翌年に繰り越すことができます。

税務署から届いた所得税の確定申告の書類一式および平成22年分の所得税の確定申告書（損失申告用）の控えを必ずご持参ください。



子どもたちの熱い戦い(町子ども会駅伝大会)

- 【男子の部】
第1位 坂野一波(佐用小A)
第2位 阿部圭将(三河小A)
第3位 西川雄健(利神小A)

- 第3位 おもろーズ(佐用小)
準優勝 江川KBS48(江川小)

- 【女子の部】
第1位 阿曾沙耶(三河小)
第2位 植田真央(佐用小)
第3位 出水瑞希(三河小A)

- 【女子の部】
優勝 オレンジガールズ(上月小)
準優勝 久崎6年(久崎小)

- 【混合の部：女子】
第1位 小西美莉亜(中安小B)
第2位 森詩保子(上月小A)
第3位 小谷林暖(久崎小A)

- 【男子(混合)の部】
優勝 佐用わがキッズ(佐用小)
準優勝 スラムダンク(上月小)

- 【混合の部：男子】
第1位 赤松儀優(上月小A)
第2位 清水鈴太(上月小A)
第3位 中石智大(上月小A)
第3位 三浦悠嗣(上月小A)

- 【男子(混合)の部】
優勝 佐用わがキッズ(佐用小)
準優勝 スラムダンク(上月小)

■個人賞

第10回町ミニバスケットボール大会

■開催日 2月12日日

■場所 佐用勤労者体育センター

- 【混合の部】
第1位 上月小A(清水鈴太・上野ふたば・三浦悠嗣・岸本詩織・赤松儀優・山下夏未・森詩保子・中石智大)
第2位 徳久小A(瀬尾将史・内堀未夢・鎌内侑奈・森本陽希・舟引千紘・小南萌香・稲田卓杜・舟引健介)
第3位 三日月小A(大前悠之介・日向梓・大谷一)

- 【男子の部】
第1位 佐用小A(坂野一波・留田峻輔・城内智貴・孝橋昂斉・岡本匠馬・石黒由矩)
第2位 利神小A(井口青空・棒谷一輝・大谷諒介・井口詩音・紙本嵩昌・西川雄健)
第3位 三日月小A(小笹直輝・竹内峻一郎・松嶋一樹・木村友紀・小嶋淳平・松井拓海)

- 開催日 1月22日日
■場所 南光スポーツ公園周辺

- 【女子の部】
第1位 三日月小A(出水瑞希・山本真帆・西口茉莉奈美・古川歩・西川夏海・坪内友香)
第2位 佐用小(植田真央・河野理乃・高見望愛・横山詩萌・白井結・藤木亜美)
第3位 三河小(阿曾沙耶・春名優花・井上花恋・藤本瑠那・大畑茉央・小久保亜美)

がんばった人たちに
スポーツひろば
(敬称略)

- 太・梶本深月・宇多勝彦・清水あさひ・小笹太誠・西平美砂

さらに充実
気軽に相談を

障がい者相談支援

町では、3月から障がい者相談支援業務を社会福祉法人佐用福祉会に委託し、専門的な支援を行うことで、障がいのあるかたが地域で安心して生活できるように支援します。

障がい者相談支援とは、障がいのあるかたと、その家族からの相談に応じ、必要な情報をお知らせしたり、

必要な援助を行ったりすること、自立した日常生活や社会生活を送れるように支援することです。

相談内容は、日常生活に

関することから障がい者福祉サービスの利用方法、就職支援などです。

相談は無料。相談内容や個人情報厳守します。安心して気軽に相談ください。

相談窓口

相談支援事業所 すまいる
(社会福祉法人佐用福祉会
いちよう園内)

☎ 82・0003

【受付時間】

月曜日～金曜日
午前9時～午後4時

健康福祉課社会福祉推進室
☎ 82・0661

ご存知ですか 介護手当制度

町では、在宅高齢者、または在宅の重度心身障がい者(児)で寝たきりのかたを介護している家族に、介護手当を支給しています。申請がまだのかたは、手続きを行ってください。

町では、在宅高齢者、または在宅の重度心身障がい者(児)で寝たきりのかたを介護している家族に、介護手当を支給しています。申請がまだのかたは、手続きを行ってください。

■支給額 月額1万円(3か月ごとに3万円ずつ年間4回支給)(重度障がい者(児)介護手当の場合、月

額1万5千円の場合もある。所得制限(高齢者本人、配偶者、扶養義務者)があり、支給は認定請求のあった翌月からとなります。

必要とする状態
②【在宅高齢者の場合】
居宅で認知症の状態、常時介護を必要とする状態
【在宅障がい者の場合】
身体障がい者手帳1級または2級を所持されているかた、または重度的障がいと判定されたかた

健康福祉課社会福祉推進室
☎ 82・0661

高額な外来診療を受ける皆さまへ

「認定証」など提示すれば 窓口での支払いが一定の金額にとどめられます

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、高額な外来診療を受けた時、1カ月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただいていた。しかし、平成24年4月1日からは、限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

事前の申請など、詳細は加入されている健康保険組合、全国健康保険協会、役場住民課(国民健康保険、後期高齢者医療制度)、国民健康保険組合までお問い合わせください。

問 住民課年金・保険室
☎ 82・0660

■高額な外来診療を受けたとき



高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
70歳未満のかた 70歳以上の町民税非課税世帯などのかた	加入する健康保険に「認定証」(限度額適用認定証)の交付を申請してください	「認定証」を窓口で提示してください
70歳以上75歳未満で町民税非課税世帯などではないかた	必要ありません	「高齢受給者証」を窓口で提示してください
75歳以上で町民税非課税世帯などではないかた	必要ありません	「後期高齢者医療被保険者証」を窓口で提示してください

●「認定証」を提示しない場合は、従来どおりの手続きになります。(高額療養費の支給申請をしていただき、支払った窓口負担と限度額の差額が、後日ご加入の健康保険組合などから支給されます)

平成24年
4月1日
から

皆さんの
力が必要です

地域の安全・安心を守る 消防団員募集

「自分が育った町、自分が暮らす町、大切な町を守りたい」。そんな人たちが集まる消防団に、あなたも入団しませんか。地域を知るあなただからこそできることがたくさんあります。みんなの町をいっしょに守りましょう。

■消防団員になるための資格・要件

- ①町内に在住・在勤する18歳以上のかた
- ②身体強健で、団員として品位を保持できるかた

問 企画防災課まちづくり防災室 ☎ 82-0664



高齢受給者証を 更新します

4月から
新しい受給者証に
国民健康保険



国民健康保険に加入し、高齢受給者証(70歳から74歳)をお持ちのかたで、一部負担割合が「2割(平成24年3月31日までは1割)」のかたは、4月1日から新しい受給者証になります。新しい受給者証は、3月下旬に郵便でお送りしますので、必ず内容をご確認ください。

なお、古い受給者証は、住民課、各支所・出張所に返却してください。

問 住民課年金・保険室
☎ 82・0660

千本の桜を見に行こう

佐用町

第6回 桜まつり



日時 4月8日(日) 午前10時▶午後2時

場所 笹ヶ丘公園／笹ヶ丘ドーム

桜がほころぶ笹ヶ丘公園で、恒例の桜まつりを開催します。昨年は東日本大震災の影響で中止になり、2年ぶりの開催。当日はバザーや宝さがしなど、イベント盛りだくさん。昨年完成した新しいビクスライダーに滑りながら、約千本の桜の景色を楽しみませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

問 商工観光課商工振興室 ☎82-0670

「上三河の舞台」で熱演

南光歌舞伎まつり



日時 3月25日(日) 午前10時30分▶午後3時30分

場所 上三河の舞台

115年ぶりの大修理を終えた「上三河の舞台」で、4年ぶりに南光歌舞伎まつりを開催します。南光子ども歌舞伎クラブや養父市のせきのみや子ども歌舞伎クラブ、上月太鼓が出演し、舞台を盛り上げます。

また、公演に先立って、感謝状贈呈式や希少な舞台装置の実演解説などが行われます。

問 南光支所地域振興室 ☎78-0123

親の縁を子の縁に 親心・恋の良縁セミナー

お子さんの結婚を望む親同士が意見交換する交流会を開催します。お気軽にご参加ください。

日時 3月25日(日) 午後1時30分～
場所 さよう文化情報センター

■内容 講師による婚活アドバイスや、出会いの場として、お子さんのプロフィールを基に情報交換を行います。

■参加対象 独身者の親で誠実に対応して下さるかた ※ただし、男性のみ町内在住で定職についているかたとします。

※必ずお子さんの了承を得てください。

■参加定員 30名
■参加費 1,000円(デザートと飲み物代)
■申込期限 3月19日(日)

問 企画防災課復興企画室 ☎82-0664

上下水道課からお知らせ

家族の異動は届出を

毎年3月・4月は、生活の拠点の変更(異動)が多い時期です。下水道使用料金は使用人数で算出しています。入学や就職などで異動が生じる場合には『下水道使用料変更届』が必要です。この届けは、異動事由が生じたときに、随時届出が必要です。

届出は、役場本庁(住民課)、各支所・出張所をお願いします。



問 上下水道課下水道管理室 ☎86-1212

救命士からのワンポイントアドバイス ONE POINT

新しい心肺そ生法

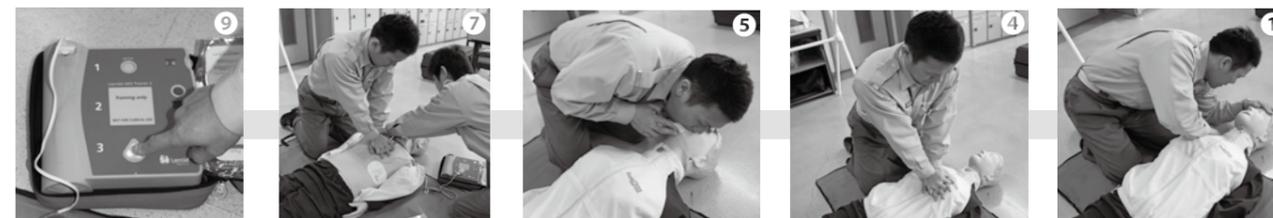
— 人工呼吸よりも心臓マッサージを優先

心肺そ生法が新しい方法に変わりました。変更のポイントには「人工呼吸」よりも「心臓マッサージ」を優先して行うことです。心臓マッサージで血液や酸素を循環させる方が効果があり、また町民の皆さんが行いやすいことから変更になりました。消防署では新しい心肺そ生法の講習会を随時行っています。気軽にご連絡ください。

問 消防署 ☎82-3872

■心肺そ生法の順序

- ① 反応を確認する
 - ・ 肩を軽くたたき、反応を確認する
- ② 応援を呼ぶ
 - ・ 119番通報とAEDの手配する
- ③ 呼吸を見る
 - ・ 胸とお腹の動きを確認する(10秒以内)
- ④ 心臓マッサージを行う
 - ・ 胸の真ん中を30回連続して圧迫する(5秒以上沈む強さで1分間に100回以上のリズム)
- ⑤ 人工呼吸を行う
 - ・ 気道を確認し、1秒かけて吹き込む(2回続ける)
- ⑥ AEDの電源を入れる
 - ・ ④⑤は継続する
- ⑦ 電極パッドを胸に貼る
 - ・ パッドの表面に書かれた場所に貼る
- ⑧ 心電図の解析メッセージ
 - ・ 心臓マッサージを止め、誰も触れていないことを確認する
- ⑨ 電気ショックと心肺蘇生の再開
 - ・ AEDの音声の指示に従って、ショックボタンを押す。すぐに、心臓マッサージと人工呼吸を再開する



ちょっとした油断が大きな火災に 山火事に注意

空気が乾燥し、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなっています。

これから農耕期に向けて、田んぼのあぜ草焼きや山の火入れ、また山菜採りやハイキングでのたばこの投げ捨てなど、ちょっとした油断で大きな火災となってしまう可能性があります。火の取扱いには十分注意し、火の用心を心掛けましょう。

問 消防署 ☎82-3872

今年になって建物火災が3件発生 住宅火災が多発

今年に入ってから、既に建物火災が3件発生しています。

そのうち2件は、住宅用火災警報器が発報し、警報音によって早い段階で火災に気がつき、被害を押し止めることができました。

住宅用火災警報器は、火災の発見にとっても大きな効果があります。まだ設置がお済でない場合は、一日も早く設置しましょう。

行事カレンダー

- **デイ・ケア** (精神障がい者社会復帰訓練事業)
3月14日⑥、22日⑥
午後1時30分～午後3時30分
- **こころのケア相談 (要予約)**
3月8日⑥ 午後1時～午後3時
場所：佐用町保健センター
担当：赤穂仁泉病院 深井院長
- **講演会「こころの健康」**
3月25日⑥ 午前10時30分～正午
場所：佐用町保健センター
講師：赤穂仁泉病院 深井院長
- 問 **健康福祉課 健康増進室** ☎87-8020
- **こころのケア相談日 (要予約)**
- **若者の心と体の相談 (要予約)**
3月16日⑥ 午後1時～午後3時
場所：龍野健康福祉事務所
- 問 **龍野健康福祉事務所**
☎0791 (63) 5142

赤ちゃん和妈妈の行事

- ★ **3歳児健診**
(平成21年1月～平成21年2月生まれ)
3月21日⑥ 午後1時00分～
 - ★ **ヨチヨチ健康相談** (平成23年3月生まれ)
3月16日⑥ 午後1時30分～
 - ★ **4カ月児健診** (平成23年11月生まれ)
3月26日⑥ 午後1時30分～
 - ★ **すくすく健康相談離乳食教室**
4月5日⑥ 午前10時～ (平成23年9月生まれ)
 - ★ **0歳児クラス** (2か月～1歳未満)
4月9日⑥
2か月～6か月児 午前10時30分～正午
7か月～1歳未満児 午前10時～午前11時30分
 - ★ **すてきなママになるための教室** (妊婦)
3月26日⑥ 午前9時30分～
4月9日⑥ 午前10時～
- いずれも場所はさよう子育て支援センター

あなたのまわりの大切な人を
タバコの煙から守りましょう

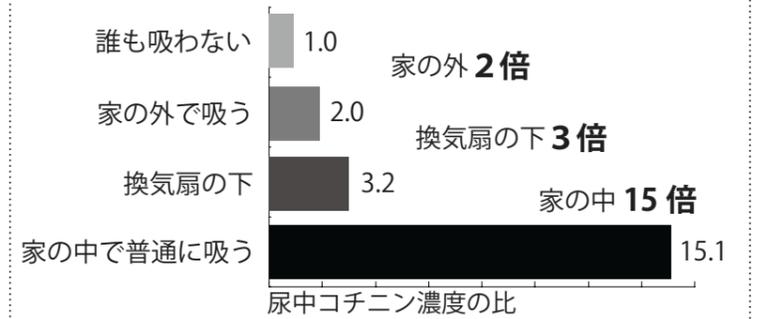
タバコの煙は、喫煙者はもちろん、周りの人の健康にも悪影響を与えます。他人のタバコの煙を吸ってしまうことを『受動喫煙』といいます。同じ部屋や車の中でタバコを吸うと、受動喫煙の影響を大きく受け、がんや喘息、心臓発作など重大な健康被害を引き起こす危険性があります。特に、子どもへの影響は深刻です。屋外や換気扇の下で吸っても、受動喫煙を防ぐことはできません。

- タバコの煙から大切な家族や周囲の人の命を守るためには、禁煙が一番です。
- 禁煙が難しいかたは、まわりの人への影響を考え、喫煙マナーを守りましょう。

問 **龍野健康福祉事務所地域保健課**
☎0791 (63) 5686



■ 喫煙場所によるタバコの影響—子どもの尿中コチニン量



※コチニンとは、ニコチンが体内に入り、体内で作られる物質で受動喫煙の程度を示す指標の一つ

健康

幼児の発達とコミュニケーション

■ 1歳半 —事前の声かけ

日常生活で何か行動に移す時には、事前に子どもに声かけをしましょう。「お風呂に入ろう」「お散歩行くよ」。こんな声かけは、子どもが言葉を理解していなくても、日々の生活に一定のリズムがつき、子どもが安心して行動できるようになります。

■ 2歳 —真正面から向き合ってしまう

自我が目覚める時期です。「イヤ」「ダメ」は指示や拘束に対する抵抗で、本当に嫌とは限りません。言葉の裏にある心を読み取りましょう。例えば、お母さんの姿が見えなくて不安な時に見つけた場合、「お母さんなんか嫌い」と口にするのは、「会えて良かった」ということです。子どもが何を伝えようとしているのかを考え、その思いを受け止めましょう。

■ 3歳 —スキンシップを忘れない

この時期には、言葉を理解しているように見えますが、大人扱いするには少し早すぎます。スキンシップを大切に、子どもを大切に思う気持ちを行動で示しましょう。

また、体験したことを語り合うことも大切です。子どもの言葉の世界を豊かにし、想像する力をはぐくみます。

■ 4歳 —ルールは「気づきを与えるお約束」

約束の意味がわかりはじめるころです。日常生活で守りたいルールは、繰り返し伝えましょう。「お菓子が食べたい」「歯磨きの後は、お菓子は食べないお約束」。これは気づきを与える約束です。約束で子どもを縛ったり、交換条件(例：静かにしていたらお菓子を買ってあげる)にしたりするのは避けましょう。

食育

食を楽しみましょう —いずみ会の取り組み

■ 糖尿病予防教室を開催

町いずみ会が、12月14日、町保健センターで生活習慣病予防を学ぶ糖尿病予防教室を開催しました。

教室では、参加者と同会会員の皆さんが、糖尿病の恐ろしさや糖尿病とうまく付き合うために、食生活や運動方法などについて学びました。

■ 冬休み親子クッキングを開催

町いずみ会あじさいグループが、12月27日、町保健センターで親子クッキングを開催しました。

参加した8組の親子たちは、町栄養士から朝ごはん野菜の大切さについて話を聴き、その後、同会会員の指導を受けながら、ケーキ寿司やスイートポテトサラダなどの料理に

挑戦。子どもたちは、さつまいもの皮をむいたり、野菜を切ったりして、小さな手で慣れない作業に懸命取り組んでいました。



親子クッキングの様子

■ いずみ会員募集中

町いずみ会では、様々な食育活動に取り組んでいます。いずみ会活動に興味のあるかたは、下記までお問い合わせください。一緒に活動しましょう。

問 **健康福祉課健康増進室** ☎87-8020

くらしの情報

Information

お知らせ

今月の納税

確定申告による 所得税の納期限

納期限 **3月15日**

口座振替日は4月20日

税務課 町税対策室
☎82-0662

後期高齢者医療保険料 (普通徴収) 第9期分

納期限 **4月2日**

口座振替日は4月2日

住民課 年金・保険室
☎82-0660

お知らせ

2月～3月に建物・農機具 共済に加入した皆さんへ

建物・農機具共済に加入すると新しい共済証券が届きます。証券の記載内容を確認のうえ、建物・農機具共済証券受領書を必ずのポストへ投函してください。

なお、年度途中に、加入物件・契約者などに異動・変更が生じた場合は、ご連絡ください。

農林振興課農業共済推進室
☎82-0667

募集

兵庫県高齢者放送大学 学生募集

ラジオを聴いて感想文を提出する学習スタイルです。

■対象 60歳以上で県内在住のかた

■募集人員 500人(先着順)。他に聴講制度もあります。

■募集締切 4月10日

■経費 年間6,000円

■放送 ラジオ関西で毎週土曜日の午前6時30分から30分間

■期間 1年間

■申し込み・お問い合わせ
兵庫県高齢者放送大学
☎079(424)3343

お知らせ

アンサンブル・ルドルフ 打楽器の森コンサート

ステージで打楽器を演奏体験できるコーナーもあります。

■日時 3月24日

開場 午後1時30分

開演 午後2時～

■場所 スピカホール

■入場料 大人1,000円、高校生以下500円

■チケット販売所 スピカホール、さよう文化情報センター、町民プールあめんぼ、上月体育館、住民課、各支所

■スピカホール ☎82-0595

お知らせ

平成24年度国税専門官 採用試験

■受験資格

①昭和57年4月2日～平成3年4月1日生まれ

のかた

②平成3年4月2日以降生まれのかたで下記に該当するかた

(1) 大学を卒業したかた
および平成25年3月までに大学を卒業する見込みがあるかた

(2) 人事院が(1)に掲げるかたと同等の資格があると認めるかた

■申込受付期間
4月2日～4月12日

■第1次試験 6月10日

■相生税務署総務課
☎0791(23)0380

お知らせ

クリーンセンターから お知らせ

■粗大ごみの収集

4月から順次収集を行います。収集日程は別途お知らせします。

■祝祭日の業務
3月20日(春分の日)

■クリーンセンターへの直接搬入
月～金曜日の午前9時～午後4時30分をお願いします。なお、土日の搬入は行っていません。

■佐用クリーンセンター
☎82-0293

募集

上月城の歴史と 目高の風景を楽しもう

歴史と自然の散歩道散策

上月歴史資料館を発着地とし、上月城跡や尾根道を散策しながら、目高地区を巡って同館を目指す全長9kmのコースを歩きます。

お知らせ

- 日程 4月7日(土)
午前10時40分～午後3時
集合：上月歴史資料館
※皆田和紙の説明を受けるかた午後4時ごろ終了予定
- 参加費 200円
- 申込方法 下記までFAXで申してください。
- 申し込み・お問い合わせ
利他の花咲く村
☎86-8777
FAX 86-8778

特定計量器 定期検査の希望調査

はかり(特定計量器)を取引や証明に使用する場合、検定証印や基準適合証印が付いているのはかりを使用することになっています。さらに2年に1回の定期検査が必要で、今年5月末から6月初めにかけて、(株)兵庫県計量協会が訪問検査を行います。

新たに検査を希望されるかたは、3月16日(金)までに下記へご連絡ください。なお、検査には手数料が必要です。

- 検査が必要なはかり(例)
・商品や製品を計って取引や商売する場合
・医療機関で体重を測定し、その結果を健康診断書などに記載して通知、報告する場合
・薬局などの調剤 など



検定証印



基準適合証印

■商工観光課商工振興室
☎82-0670

人のうごき

2月15日現在()内は前月比

人口 19,637人(△34)
男 9,397人(△13)
女 10,240人(△21)
世帯数 7,172戸(2)

2月中の移動
出生10人 死亡25人
転入18人 転出37人

お誕生おめでとう

1月16日から2月15日届出分 敬称略
名前 保護者 自治会

個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

1月16日から2月15日届出分 敬称略

名前 年齢 自治会

個人情報のため非公開

ちょうみんカレンダー

3月上旬～4月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
3/8	木	高年大学南光教室閉講式	南光文化センター	10:30～
9	金	中学校卒業式	各中学校	
13	火	高年大学三日月教室閉講式	三日月老人福祉センター	10:00～
16	金	高年大学佐用教室閉講式	さよう文化情報センター	10:00～
		高年大学上月教室閉講式	上月文化会館	10:00～
			佐用保健センター	
21	水	行政相談	上月支所	13:00～15:00
			南光文化センター	
			三日月文化センター	9:00～11:00
22	木	高年大学佐用教室閉講式	さよう文化情報センター	10:00～
		小学校卒業式	各小学校	
24	土	紙すき文化伝承施設しゅんイベント	6ヶ所をご覧ください	
25	日	南光歌舞伎まつり	17ヶ所をご覧ください	
26	月	保育園卒園式	各保育園	
4/1	日	消防出初式	南光スポーツ公園	10:00～
5	木	保育園入園式	各保育園	
6	金	小・中学校入学式	各小中学校	
8	日	佐用町桜まつり	17ヶ所をご覧ください	

佐用町の誇り



皆田紙の歴史

—佐用町の紙づくり— その1

私たちの生活に欠かすことができない「紙」。パソコンに頼る現代社会でも、最も身近に記録できるものとして様々な分野で使われています。

紙は西暦 105 年ごろ、中国の蔡倫が樹皮や麻、布などを材料として作ったのが最初とされています。日本には、西暦 610 年に高句麗の僧であった曇徴どんちようが製法を伝えたと言われています（異説もあり）。

そして日本での紙づくりは、国の事務文書や仏教の教典への使用などを背景として発展。平安時代には、記録だけでなく、物語をはじめとした国風文化にもはぐくまれ、中世以降には芸術文化や宗教に至るまで数々の記録を紙に残すようになりました。そうして蓄積された情報は、後世の文化発展に大きく貢献しました。

さて、このような紙や紙づくりは、播磨国や佐用町にとって、どのようなかわりがあるのでしょうか。

元来、播磨国は、古くから紙を作ってきたところとして知られており、既に奈良時代から紙に関する記録が残っています。そのなかでも紙の生産地として知られていたのは、現在の多可町あたりで作られていた「杉原紙すぎはら」です。奈良時代から紙づくりが行われていたと伝えられる播磨国有数の生産地です。

では、佐用町ではどのようなかわりがあったのでしょうか。それは、奈良時代からもう少し後の時代に「かいた」紙として出てくることになります。

（次号に続く）

問 教育委員会 ☎ 82-2424

編集後記

◆平成 23 年県広報コンクールが行われ、広報紙町の部で昨年の 12 月号が特選になりました。◆受賞した 12 月号は、東日本震災の被災地支援に携わったの思いをレポートするとともに、限界集落に暮らす皆さんが支援者と協働して集落の維持に立ち向かい、自信と誇りを創り上げていく新たな活動を追った特集号です。取材に応じてくださった皆さんに改めて感謝を申しあげます。◆本誌は取材に応じてくださいるかたはもちろん、情報や原稿をくださるかたなど、毎号多くの人の協力によって作られています。本当にありがとうございます。これからも「広報さよう」をよろしくお願いします。⑤



わが家のアイドル

ゆうき 河副祐希ちゃん

外遊びと食べることが大好き！！これからも笑顔いっぱい、元気いっぱい、優しくたくましい子に育ってね。

Spring-8 / SACLA 見えないものが見えてくる

光都にある理化学研究所・播磨研究所では平成 18 年から 5 年間かけて建設した X 線自由電子レーザー施設 SACLA（さくら）の供用運転を開始します。

いよいよ SACLA の利用が始まります



公開された「SACLA」の内部

SACLA は、とても細かなものが見られるという X 線の特徴と非常に明るくまっすぐに進むレーザーの特徴を併せ持つ新しい光「X 線レーザー」を作り出し、その光を使ってさまざまな実験や研究を行う施設です。現在、X 線レーザーを使える施設は世界に 2 つしかなく、その 1 つが SACLA です。

SACLA は、非常に強力で高速のフラッシュなので、生物や物質を形作っている原子や分子の超高速の動きを観察することができます。反応の様子や仕組みが解明されることで様々な分野の研究が進むことが期待されています。

播磨研究所では、今年も 4 月 30 日に施設公開を行います。15 年目を迎えた大型放射光施設 SPring-8 と今回の SACLA。2 つの世界一の最先端施設をぜひ見に来てください。

問 独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 ☎ 0791(58)0900

広報さよう 平成 24 年 3 月号

「広報さよう」は、環境とやさしい紙（大豆油）インキと再生紙を使用しています。今月号の印刷費は、1 部約 3 円です。

ホームページ <http://www.town.sayo.lg.jp>
Eメール koho@town.sayo.lg.jp